



笹中だより

学校教育目標

自立 自ら学び
共生 互いを支えあい
創造 未来を創る笹中生

横浜市立笹下中学校 ☎ 045-841-1333 令和6年3月1日(金) 3月号

笹中HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/sasage/>

AI時代に何を学ぶか

副校長 小灘 洋生

いよいよ3月になりました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。1, 2年生のみなさんも「これから」を強く意識する時期だろうと思います。

「AI時代」という言葉を聞くことが最近多くなりました。ある程度の状況や問いかけをすることで文章や画像などを作ってくれる、生成AIに触れたことのある方も多いのではないのでしょうか。

昨年5月の朝会では「AIに宿題をさせることについてどう思うか」、「上大岡駅から笹下中学校への行き方」を生成AIの一つ、ChatGPTに答えてもらった件について話をしました。宿題の件については「バランスを考えて活用していくほうがいい。」という回答を、笹下中学校への行き方については実にもっともらしいけれど実際にはたどり着けない案内でした。自分自身が学ぶことの大切さと生成AIのその当時の限界について話しました。最近、改めて別の生成AIに笹下中への行き方を聞いたところ、地図付きで案内してくれました。数か月の間に格段の進歩をしています。

生成AIだけではなく、様々な分野にAIは役立てられており、もうすでにAIによって時間の節約や生活の快適性が図られています。AI時代の真ただ中に立っているのかもしれない。

そんな時代に学ぶべきこととは何でしょう。まず、AIを利用するためには、AIが何をやっているか、AIに何をやらせるかを理解するための技術的なスキルが必要でしょう。

学校で学ぶこととしてはどんなことでしょうか。AIで回答してもらえるので、従来からのテストで測っていたような記憶の量というのはさほど重要ではなくなるといわれています。

では、どんな力が必要かというところ、まず、問題解決能力。何が問題かをとらえるところやその問題を解決する筋道を考えるところも含まれます。次に、クリティカルシンキング(批判的思考)。今ある知識や経験だけから考えてしまうと、考え方が偏ってしまい、今の問題から抜け出せなくなってしまいがちです。そして、知識を獲得するより、問題解決を重視していくにはチームで活動する場面が多くなるので、コミュニケーションスキルも必要です。対面だけでなく、SNSなどコンピューターを通してのコミュニケーションスキルも必要でしょう。

このような形で、社会で必要とされる力にあわせて学校の教育で重視することも変わっていきます。

さて、いちばん必要なことは生徒だけでなく、我々大人も共通です。この変化していく時代では、何より技術や社会の変化について継続的に学習をしていくことと、受け入れていく柔軟性が必要です。学び続ける大人になりたい、なってほしいと思います。